

ランチョンセミナー 22 [LS22]

日時：2026年4月11日(土) 11:50～12:50

会場：Room 1 メインホール(福岡国際会議場)

4月11日(土)

Reason to Believe

～私がこのレンズを使う理由～

座長

西田 幸二 先生
(大阪大学)

ご略歴

1988年 大阪大学医学部 卒業
 1998年 ソーク研究所(米国、サンディエゴ) 研究員
 2006年 東北大学大学院医学系研究科 主任教授
 2010年 大阪大学大学院医学系研究科 主任教授
 2015年 大阪大学医学部附属病院 未来医療開発部 部長(併任)
 2017年 大阪大学先進的学際研究機構
 生命医科学融合フロンティア研究部門 部門長(併任)
 2019年 大阪大学医学部附属病院AI医療センター センター長(併任)
 2022年 大阪大学ヒューマン・メタバース疾患研究拠点 拠点長

白内障手術は、とりわけ多くの眼科医が執刀する手術であり、臨床現場において大きな比重を占めている。昔と比べ、検査機器の性能向上やIOL度数計算式の進歩により、術後屈折の精度が飛躍的に高まった結果、今や患者満足度は「どのIOLを選ぶか」に大きく依存するようになってきている。

そのIOLの種類はというと、保険診療内で使用できる高付加価値IOLの登場、多焦点については回折型とEDOF双方の進化と、ここ7～8年での多様化は目覚ましいものがある。最近はインターネット等でIOLを詳しく調べてから受診する患者さんも増えており、我々医療者の側も、情報をアップデートし適切な知識を身につけておくことが極めて重要である。

そこで今回、様々なバックグラウンドを持つ先生方を演者にお招きし、主にHOYA社の高付加価値IOLについて、なぜ選び、どう活用しているのかを解説いただくセミナーを企画した。田中公二先生からは黄斑上膜同時手術での、村上祐介先生からはMIGS/MIVS症例でのImpress使用経験をご講演いただく。村岡勇貴先生からは、発売されて間もないImpress Toricの初期評価を主にご紹介いただく。後藤聡先生からは、多焦点IOLで良好な術後結果を導くためのポイントをご講演いただく。4名の実力派演者たちが披露する最新知見を、明日からの日常診療に是非お役立ていただきたい。

講演 1 | 黄斑上膜同時手術におけるImpressの有用性

田中 公二 先生(日本大学)

講演 2 | MIGS/MIVSにImpress!

村上 祐介 先生(九州大学)

講演 3 | Impress、その実力や如何に

村岡 勇貴 先生(京都大学)

講演 4 | 眼内レンズ選択の4Stepsと光学シミュレーションで
自信を持った多焦点IOL選択を実現する

後藤 聡 先生(大阪大学)

HOYA
SURGICAL OPTICS